

Vol.048

福島市議会真政会報  
— 平成29年1月 —

# 真政会報

真政会要綱

私たちは地方自治の信念に則り行政に対する監視と提言を怠ることなく、常に市民と行政のパイプ役として「市民」「議会」そして「市当局」との三位一体を旨とし、市民福祉の向上と地域の振興・発展、真の市政伸展に邁進することを誓う！

▶市民会館にて開催された市民との意見交換会の様子



## 第3回 市民との意見交換会2016 「本市中心市街地の将来像について」

あのにぎわいを取り戻すために

11月6日真政会の主催による第三回・市民との意見交換会を市民会館にて開催し、約40名の方に参加いただきました。

今回の意見交換会では『福島市中心市街地の将来像について』と『市政全般について』の2部構成で多くの意見・提案をいただきました。12月議会ではこれをもとに、駅前通りリニューアル工事やパセオ通り改修、商店街の魅力向上の支援策、中心市街地駐車料金の2時間無料化について当局に質しました。

現状では検討または参考にするとの答弁でしたが、今後も市民の声を反映させるべく政策立案に活かしてまいります。

会場からは、福島市も自主財源で何らかの特色を持ち、交流人口を増やしていかなければならないとの意見が出されました。



2部では市政全般についての質疑を行いました。福島大学食農学類についてや中核市への会派の取り組み方など若い大学生を含め様々な年代の方から意見をいただきました。先述のとおり皆様の意見をもとに議会の場で市当局への提言も含め回答を得ることができました。春季にも意見交換会を開催予定ですので皆様の参加とご意見をお待ちしております。

### 小樽・境港・米子の活性化策を報告

小樽市は、景観条例による歴史的建造物や運河などを活かした市街地活性化策を実施。「寄附条例」を制定し、集まった寄附を基金として活かしています。

次の境港市は、駅前商店街の整備計画で、地元出身の水木しげる氏の「妖怪」をオブジェに採用。その後、妖怪ブロンズ像を153体に増やし、全国的に話題となつていきます。3番目に報告した米子市は、民間事業を活用した活性化策で、一つの商店街の復活をきっかけとして面的に広がっています。

### 意見交換会2部



平成29年度の予算編成時期に先立って、当会派では、本市の現状を把握しつつ、新年度に向けて何が優先課題なのかを全員で検討してまいりました。その中で、30年4月からの中核市の移行に向けた取り組みや、学校耐震化の促進など、各部における重点政策をはじめ細部にわたる具体的な要望施策を11月8日、会長から直接市長に手渡しました。その後、原発事故以前の安全・安心な福島市を取り戻し、復興を加速・創生していくための意見交換を行いました。

### 「平成29年度予算編成に関する要望書」を市長に提出

また、当会派が独自の活動として一昨年から実施しております「市民との意見交換会」、連携中核都市圏を

### 会長挨拶



半沢 正典

東日本大震災及び原発事故から六回目の新年を迎えました。未だ残された課題である仮置き場設置・除去土壌の搬入等除染関連をはじめ

### 新年明けましておめでとうございます

め関連条例の制定も大詰めを迎えます。保健所の開設準備、専門職員の養成など移行により行政サービスが格段に向上するよう提案をして

をキーワードに足腰の強い政策立案を行い市民の皆様の負託にこたえて参りますので本年もご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

め風評被害払拭などを解決し、復興創生に向け着実に歩みを進める一年と致します。加えて本年は中核市移行に向け県・国への申出をはじめ

まいります。また、当会派が独自の活動として一昨年から実施しております「市民との意見交換会」、連携中核都市圏を意識した「周辺自治体議員間交流」を継続し「情報公開」「広報広聴」「共存共栄」



# 12月定例会一般質問(抜粋)

今定例会では、当会派より、尾形、大平、小松、萩原、真田の各議員が市政について質しました。

## 新たな農業委員会等に関する法律の一部改正について

**Q** 農業委員会法においては、目的として農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り、農民の地位の向上に寄与するためと謳われている。所掌事務として農地の利用関係の調整、農地等として利用すべき土地の利用確定、農地等の集積効率的な利用促進、法人化等農業経営の合理化、各農業分野の調査研究、情報提供、行政に対しての建議等が掲げられている。本市は公選委員36名・各団体推薦6名の42名で構成。新たな農業委員会等に関する法律の一部改正の内容を伺う。

**A** 農業委員選出方法は推薦・公募を実施し市長の任命制で定数24名とする。農地利用最適化推進委員が新設され定数36名、各区域で農地等の最適化を推進し現場活動を行う。

## 庭坂遠原、笹木野原地区内における側溝の新設要望について

**Q** ゲリラ豪雨で道路住宅の浸水の事例が多く聞かれる。昨今、同様の被害を受けた庭坂遠原・笹木野原地区における側溝の新設要望について当局はどのような考えをお持ちか、過去の吾妻地区自治振興協議会でもテーマにのぼり議論された経緯も踏まえ見解を伺う。

**A** 庭坂遠原・笹木野原地区における住宅道路の浸水被害について平成27年より2年間にわたり被害状況と改善に向

けた現地調査を行い、更には地元と被害低減に向けての協議を重ねてまいりました。その中で浸水被害の低減のため既存の断面不足の側溝の改修や必要とされる側溝の新設することが有効と確認されたため、今後は整備方針を定め、優先順位を考慮し整備する予定です。

## 市長の旅費について

**Q** 小林市長が公務出張前後に東京の自宅に宿泊するなど公費で私事旅行をすることは旅費規程や社会通念上認められない。また、福島市を多く離れることは危機管理上支障がないのかなど9月定例会議では、市長の旅費に関して直接審査が開催され、指摘を受けたことに

対し、市長は記者会見で「法律に則っている。疑念を持たれたことは残念で、今後説明していきたい」旨を延べておられました。しかしながら、これまで議会や市民に向けて説明責任を果たしてこなかった理由と今後の説明時期を質しました。

**A** 高梨敏則市長公室長は、顧問弁護士との協議を含め検討し、今年度中には議会に説明する方針を示しました。

## ごみ集積所の改善について

**Q** ごみの集積所は道路、歩道、側溝のふたの上など、通学路での障害や風やカラスによる散乱など、多くの町会で苦悩しています。そこで、一定規

模の共同住宅や宅地造成においてごみの集積所設置を義務化してはどうかと当局の見解を問いました。

**A** 「共同住宅に集積所の設置を義務付けることは所有財産に一定の利用制限を課することになるので慎重に検討する。また、宅地造成の件については、都市計画法に技術基準が定められていないので困難である。市では、ごみ集積所の構造物やごみ散乱防止ネットの助成制度があり町会において集積所の管理をお願いしたい。」旨の回答がありました。他市の事例等調査・研究することとした。

## 業務継続計画(BCCP)の策定について

**Q** 防災対策を定めた計画としては地域防災計画があり、これを補完して具体的な体制や手順等を定めたものとして各種の災害対応マニュアルがあるが、業務継続計画は、これらの計画等をさらに補完し、又は相まって、地方公共団体自身

が被災し、資源制約が伴う条件下においても非常時優先業務の実施を確保するものであることから、早急な策定が求められる。本市に於ける、業務継続計画の策定状況について伺う。

**A** 通常業務が中断されることとで起きる社会的混乱を最小限に抑えるべく、応急業務の明記や部局ごとに通常業務の優先順位を定めるなどの「業務継続計画」を新たに策定した。

今回の一般質問の全体内容は、福島市議会ホームページ【<http://www.city.fukushima.fukushima.jp/site/gikai/index.html>】の「議会録画中継」でご覧いただけます。

# 12月定例会議の報告

12月定例会議は、12月1日に開会し一般会計補正予算として、「福島体育館・武道館新築工事」に関する、建築本体・機械設備・電気設備工事請負契約の件、新工業団地基本設計事業費、あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業費、保健所整備事業費等の議案のほか、福島市農業委員の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する

条例制定の件、「パークゴルフ場」「宮畑遺跡史跡公園」「小島の森」「公設地方卸売市場」における指定管理者の指定の件などそれぞれの委員会で慎重審議がなされました。一般会計において、当会派からは、尾形武一議員・大平洋人議員・小松良行議員・萩原太郎議員・真田広志議員の5名が登壇しました。

## 行政視察

### 先進地を視察

#### 出雲市のまちづくりについて

真政会で行っている「市民の皆さんとの意見交換会」において、福島市をもっとにぎやかにできないかとのご意見を伺い、それぞれ特色のある山陰の3市を視察しました。出雲大社で有名な出雲市は列車で参拝に来る方から自動車に変化し動線の変更を余儀なくされ、道路の拡張や駐車場を確保したほか、石畳風の舗装をして雰囲気盛り上げました。また、「まちなみの修景」として街並みと調和のとれた改築工事に市の助成を行うとともに、看板の大きさを制限しており本市にも提言してまいります。

#### 境港市

最初に、JR境港駅前の「みなとさかい交流館」会議室において、境港市観光協会・事務局の中井真夫氏から「水木しげるロードの取り組みについて」経緯・成果と課題を伺いました。その後、中井氏の案内により、全長約800メートルの水木しげるロードを徒歩で視察しました。メインの妖怪ブロンズ像も年々数を増やし、今では153体。平成22年にはNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」の放送により、年間入込客数372万人を記録。現在、オープンから23年が経ち、リニューアル計画が進行中です。

#### 米子市

米子方式と呼ばれる民間事業者が主体の街づくりを視察しました。商店街の有志が中心となり街づくり会社を設立し、身の丈に合った活性化策を実施することで通りに賑わいを取り戻した内容などを聴取しました。本市でも、街灯組合などが疲弊し、機能しないところもある状況です。一方で、LED化により、電気代節約分により運営がスムーズになっている組合もあります。民間事業を活用することで疲弊した組合に代わる事業主体を作り活性化をはかる施策を立案する上で参考となるものでした。



### 中核市移行に関する調査特別委員会

当特別委員会ではこれまで21回の委員会を開催し、9月定例会においては中間報告を行い市当局に対し課題を示しておりました。12月定例会議に保健所整備工事費を計上した一般会計予算が提案され、本会議において可決されたことから、今後は当局でも中核市指定に係る議案の提出に向け準備が進むものと思われま。そこで、今後はこれらの状況を見据えまして、3月定例会議にむけ、中核市移行に関する今後の考え方や課題などについて委員長報告をまとめてまいります。



▲委員長報告に向けての会議

### 議員政治倫理条例策定特別委員会

当特別委員会は議員の政治倫理について、議会基本条例とは別に条例で定めるため昨年6月より14回にわたり開催され、議員政治倫理条例策定に向けて条例の考案方について整理し、条例素案および内容等の検討をいたしました。多岐にわたる検討を重ねた結果、福島市議会議員政治倫理条例(素案)を作りました。今後、市民の皆様等からパブリックコメントを頂戴し、並行して条例施行規定および条例逐条解説等を検討し、条例完成に向けて調査研究を重ねてまいります。



▲条例素案の議論

### 福島大学食農学類(仮称)説明会

福島市内に設置が決まった福島大学食農学類(仮称)の説明会が、11月26日(土)福大キャンパスで開催され、平成31年4月開設に向けた説明がありました。

「食品科学(農産物の付加価値化)」「作物栽培学(農産物の高品質化)」「生産環境学(持続可能な農業農村づくり)」「農業経営学(もうかる農業経営の確立)」の4つの専門領域で入学定員100名(収容定員400名)、専任教員38名程度で対応するものです。



▲福大キャンパスでの説明

### 商工会議所と活発に意見交換

12月20日(火)、福島商工会議所の中小企業振興委員会および復興・創生委員会と真政会との懇談会を開催しました。当日は「中核市及び連携中核都市圏構想に関する今後の取り組み方について」をテーマに、最初に当会派から現在の進捗状況や会派の取り組みを紹介しました。

その後、質疑や意見交換。司会をされた大槻博太委員長から、中核市移行への福島市民の機運を高めるため積極的に協力したい旨の話があり、同席された菅野日出喜副会頭からも率直に語り合うことのような交流を今後とも継続できればとの要望をいただきました。



▲コラッセで開かれた意見交換会

**半沢 正典** 会長  
 経済民生常任委員  
 中核市調査委員  
 政治倫理委員長  
 上島渡字寺北 28-3  
 TEL: 593-5256

**渡辺 敏彦** 顧問  
 文教福祉常任委員  
 中核市調査委員  
 松川町字青麻山 3  
 TEL: 567-2660

**宍戸 一照** 顧問  
 副議長  
 建設水道常任委員  
 荒井字上町裏 10  
 TEL: 593-1035

**真田 広志** 相談役  
 総務常任委員  
 議会運営委員  
 除染推進委員長  
 松浪町 1-15  
 TEL: 526-3201

**尾形 武** 副会長  
 総務常任委員長  
 議会運営委員  
 政治倫理委員  
 松川町浅川字大古内 9  
 TEL: 548-7683

**黒沢 仁** 副会長  
 文教福祉常任委員  
 中核市調査委員  
 飯野町大久保字谷津 44  
 TEL: 562-3582

**小松 良行** 幹事長  
 建設水道常任委員  
 中核市調査委員  
 瀬上町字東町 2-6-10  
 TEL: 553-0647

**白川 敏明** 幹事長代行  
 文教福祉常任委員  
 議会運営委員会副委員長  
 政治倫理委員  
 飯坂町字中原 36  
 TEL: 542-4041

**大平 洋人** 総務会長  
 総務常任委員  
 議会運営委員  
 除染推進委員  
 決算特別副委員長  
 八島田字東本庄町 4-27  
 TEL: 559-2043

**菅田 憲孝** 総務会長代行  
 総務常任委員  
 議会運営委員  
 中核市調査副委員長  
 政治倫理委員  
 本内字西畑 4-6  
 TEL: 553-7030

**萩原 太郎** 政調会長  
 経済民生常任副委員長  
 除染推進委員  
 山口字下屋敷 28-2  
 TEL: 535-4693

**二階堂 武文** 政調会長代行  
 建設水道常任委員  
 除染推進委員  
 町庭坂字内町 51-2  
 TEL: 591-1138

**川又 康彦** 政調会事務局長  
 経済民生常任委員  
 除染推進委員  
 政治倫理委員  
 飯坂町字湯町 25  
 TEL: 542-4251

※正式名称は左記のとおりです  
 (除染推進委員)  
 除染推進等対策調査特別委員  
 (政治倫理委員)  
 議員政治倫理条例策定特別委員  
 (中核市調査委員)  
 中核市移行調査特別委員

**編集後記**  
 明けましておめでとうございます。今年も西暦・私の地域では鶴鳥(うそどり)が人気です。これは災いをうそに変えるうそかえ祭りの縁起物です。買い求める参拝客で毎年長蛇の列ができます。私はいえんどりはとりでも近所の焼き鳥屋さんにお邪魔しようかと思ひます。